

場所		<b>液状化や崖崩れ、地盤沈下などから身を守る / 備えの段階 / D-1-1 「事前の備え・対策」</b>
日時		

		主体					
		自助(県民・事業所など)		共助(自主防災組織・ボランティアなど)		公助(県・関係団体など)	
		誰が	どのようにするか	誰が	どのようにするか	誰が	どのようにするか
時間軸	備えの段階	事業者 ○事業の用に供する建築物等が所在する土地の地形及び地質の状況の把握 ○液状化、がけ崩れ、地盤沈下のハザードマップ作成	地域、自主防災組織等 ○事業の用に供する土地の地形及び地質の状況の把握 ○液状化、がけ崩れ、地盤沈下のハザードマップ作成	●避難訓練の実施(D-2-1) ●危険箇所(マンホール等ふくむ)の点検(D-2-1) ○地域のハザードマップの作成	県・市町村 県	●中山間地域地滑りマップの作成(A-2-1) ●地盤沈下による急激な水圧上昇対策(A-2-1)  ●応急復旧法の検討マニュアル化(D-3-1) ●道路、橋、のり面等の検査と対策(D-3-1) ○土砂災害(土石流、地すべり、急傾斜地崩壊)を防止するための施設整備 ○液状化、がけ崩れ、地盤沈下に関する地域ハザードマップの作成及び指導 ○危険地域とその危険の内容をハザードマップとして作成・公表する	
	地震発生時						
	応急・復旧段階						
	復興段階						